



丁寧に作業を行う生徒

News +

ユーモアあふれる川柳の清書ボランティア

8月9日、久慈高校1年生の板垣沙良さん、大石愛実さん、久慈彩衣さんがいきいき百歳体操参加者が作成した川柳の清書ボランティアを行いました。

板垣さんは「おじいちゃん、おばあちゃんのためになることをしたいと思い、ボランティアを行いました。85首の川柳を一句ずつ大事に書きます」と意気込みを語りました。

川柳は10月の間、よむのす3階や久慈地方産業まつり、地域でつくるみんなの元気大交流会で掲示されます。

News +

スマホで防災+介護のお話

8月30日、高校生のスマホ教室Plusを久慈東高等学校で開催し、9人が参加しました。

生徒がマンツーマンで、二次元コードの読み取り方法や防災関連情報の入手方法を説明。8月に発生した台風第5号で発信された情報を見ながら、警報や河川の状況などを確認しました。

介護実習も行い、ベッド上の移動のコツやクッションを使った安楽な体位などを解説。2年の泥濘千咲さんは「伝える難しさはありましたが、参加者の反応も良く、やってみて良かったです」と笑顔で語りました。



人を起こす方法を実演する生徒

乳がん検診のお知らせ

INFO

関係推進課 ☎61-3315

日程	受付時間	受診対象地区	会場
10月11日(金)	①9時30分～10時30分 ②13時～14時	久慈地区	元気の泉
12日(土)		久慈地区	
15日(火)		夏井町、小久慈町、山根町	
16日(水)	13時～14時	待浜町	元気の泉
17日(木)	①9時30分～10時30分 ②13時～13時45分 ③13時45分～14時	①長内町 ②からだの不自由な人など(電話予約制)	
19日(土)		久慈地区、大川目町、宇部町	山形老人福祉センター
20日(日)		長内町、大川目町、宇部町	
21日(月)	①9時30分～10時30分 ②13時～14時	山形地区(※子宮頸がん検診を同時に受診できます)	元気の泉
11月3日(日)		久慈地区	
4日(月)		小久慈町、待浜町	

※乳がん検診とは対象者、自己負担額が異なります

乳がん検診を左記日程表の通り行います。国では、69歳までをがん検診を特に推奨する年代としています。この機会にぜひ受診ください。

検診の際は、上半身の衣服を脱ぐ必要があります。バスタオルなどを準備し、着替えやすい服装で来場ください。感染症対策のため、マスクの着用をお願いします。

対象地区の日程で受診が難しい場合は、別の日程でも受診可能です。連絡は必要ありません。都合の良い日に受診ください。

▼対象：令和7年3月31日時点で40歳以上の女性(受診間隔は2年に1度です)

▼自己負担額：
①40歳代2700円
②50歳～69歳1700円



水森かおりさん、海女をPR

NEWS

演歌歌手の水森かおりさんが1日北限の海女に就任



贈られた磯カギを手に海女さんと記念撮影

新曲「三陸挽歌」をリリースしたのがきっかけで、希望郷いわて文化大使を務める演歌歌手の水森かおりさんが、8月25日、1日北限の海女に就任。海女文化と小袖海女セーター活動をPRしました。

就任式で海女の衣装を身にまとった水森さんは「いろいろな格好をしてきた中で、2位を争うくらい気に入りました。NHK連続テレビ小説あまちゃん震災後の岩手の皆さんを勇気づけたと思います。私も歌で皆さんに元気を届けたいです」とあいさつ。

海女の中川やえ子さんからウニを捕るための磯カギが贈ら



甘くておいしいを連発!

水森さんの姿に思わず笑顔のファンクラブの皆さん

ウニを手に笑顔を輝かせる水森さん

素潜り実演では、海中に巧みに潜りウニを捕る海女の様子を興味津々に見学。海女が海面に浮上し、手にしたウニを見せると、観光客と一緒に拍手と歓声を上げました。

千葉県と埼玉県から訪れた水森かおりファンクラブの柳沢重美さんと村井直人さんは「久慈市を初めて訪れました。実際に足を運ばなければ体験できない、美しい海の景色が印象的です。採れたてのウニを見るのは初めてで、とげが動いている様子に驚きました。味も濃厚でおいしかったです」と声を弾ませました。

中学生が表現豊かに意見を主張

NEWS

令和6年度わたしの主張久慈地区大会

9月2日、アンバーホールで、令和6年度わたしの主張久慈地区大会が開催されました。大会には管内4市町村の中学校から13人が参加。中学生らは、生活の中で感じたことや自身の夢を、自分の言葉で豊かに表現し、身振り手振りを交え、力強く訴えました。

家族をテーマに身近な幸せを主張した佐々木蘭さんは「練習で取り組んだ、話す内容によって抑揚をつけることを意識して、一番いい主張ができました」と笑顔を見せました。相手の意見を聞くために、自分も変わる必要があると訴えた瀧澤紗柚菜さんは「緊張もありましたが、熱く思いを表現し、一番大切にしていた『楽しむ』ことも実現できました」と満足した表情

- 【最優秀賞】南翔斗(種市中学校3年)
- 【優秀賞】佐々木蘭(山形中学校2年)
- 瀧澤紗柚菜(宇部中学校3年)
- 【優良賞】上川原佳歩(夏井中学校3年)
- 川戸美唯奈(待浜中学校3年)
- 井戸快音(長内中学校3年)



主張をする佐々木さん(右)と滝澤さん

小久慈の恐竜キャラクターが誕生

NEWS

小久慈恐竜キャラクター「コクリン」

小久慈市民センターが、恐竜と琥珀を生かした「太古ロマンのまちづくり」を推進しようとして、オリジナルの恐竜キャラクターを作成しました。カタカナの「コクジ」からできているキャラクターは、地域おこし協力隊の山下竜司隊員がデザイン。愛称は約60件の応募の中から、小久慈小学校1年生の中村蓮佳さんの「コクリン」が選ばれました。

9月10日、小久慈小学校で表彰式が行われ、横道知亮所長から中村さんに賞状とコクリンが印刷された記念品が手渡されました。怖いイメージのある恐竜に、かわいい名前を考えたといい中村さんは「小久慈のコクリンを付けました。選ばれてうれいす」と笑顔で語りました。



賞状を掲げる中村さん

防災への決意を新たに

NEWS

市消防団団長に馬渡正博さんが就任

9月12日、久慈市消防団団長に馬渡正博さんが就任。同日、市役所で辞令交付式が行われました。

馬渡新団長は、昭和46年から消防団員としてのキャリアをスタート。平成16年7月から第10分団団長を、平成24年4月から副団長を歴任。50年以上にわたり消防活動に従事しています。

災害対応の拡大や高齢化社会への対応など社会情勢の変化にともない、消防団に求められる活動は、多岐にわたります。



遠藤市長から辞令を受け取る馬渡新団長(左)

馬渡新団長は「市民の安全・安心なまちづくりを目標に、規律を重んじながら、新しい時代の消防団を目指していきます」と抱負を述べました。